



平成23年2月9日

各 位

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
 代表者 代表取締役社長 中山 晴喜
 (コード番号 7844)
 問合せ先責任者 取締役 山角 信行
 (TEL 03-5769-7447)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年9月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	180	100	90	729.45
今回発表予想(B)	6,800	200	130	120	983.61
増減額(B-A)	300	20	30	30	
増減率(%)	4.6	11.1	30.0	33.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	8,284	△1,668	△1,725	△1,623	△13,617.65

修正の理由

音楽映像事業においては、「プリキュア」シリーズが音楽商品・映像商品ともに過去最高水準の好調な販売実績で推移しています。また、デジタルコンテンツ事業においては、7月に発売した「牧場物語 ふたごの村(DS)」の受注が引き続き好調に推移しており、通期の販売本数が20万本を超える見込みであることに加え、2010年11月25日からサービスを開始したPC向けブラウザゲーム「みんなで牧場物語」について、当初見込んでいなかった一部海外地域における運営権のライセンス収入を獲得することができました。一方で、「みんなで牧場物語」の課金サービス開始遅延により当期への業績寄与が限定的になる見込みであり、また、当初期中に発売を予定していた「勇者30 SECOND(PSP)」の発売を来期に延期いたしました。これらを勘案し、売上高につきましては6,800百万円と前回発表予想から微増となる見込みです。

利益につきましては、デジタルコンテンツ事業において、PS3・Xbox360向けに開発着手していた大作RPGタイトルについて、今後の市場環境を鑑みて開発の中止を決定し、開発中止に係る費用245百万円を売上原価に計上いたしました。一方で、音楽映像事業においては、「プリキュア」シリーズや主力コンテンツを中心としたCD・DVD受注及び権利配分収入・配信収入がいずれも好調に推移しました。また、デジタルコンテンツ事業において「牧場物語 ふたごの村(DS)」をはじめ国内で発売した各タイトルがいずれも計画を上回る受注を獲得したことに加えて、2010年12月1日にサービスを開始した「ブラウザ一騎当千(PCブラウザ)」がサービス開始初月から収益化を果たす非常に好調な会員獲得・課金推移となったことや、「みんなで牧場物語(PCブラウザ)」の海外ライセンス収入の獲得により、営業利益は200百万円、経常利益は130百万円、当期純利益は120百万円となり、平成22年9月27日に公表した業績予想をそれぞれ上回る見込みです。

※ 業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上